

平成21年度

組織・人員配置等  
事業概要

三重県水産研究所

# 平成21年度 水産研究所事務分掌

水産研究所  
現在員 43名

所長 紀平正人

企 画 調 整 課	10名
-----------	-----

副参事兼課長	内田高昭
主幹	岡野清和
主幹	松田浩一
主幹兼機関長	岡本楠清
主幹兼船長	松尾剛平

- 1 職員の身分及び服務に関する事
- 2 予算、庶務経理及び決算に関する事
- 3 財産の管理に関する事
- 4 調査研究に係る企画連絡調整に関する事
- 5 調査船の運営及び維持管理に関する事
- 6 ISOの認証に関する事
- 7 その他のグループに所管しない事

水 産 資 源 育 成 研 究 課	8名
-------------------	----

総括研究員兼課長	神谷直明
主任研究員	青木秀夫
主任研究員	井上美佐

- 1 種苗生産技術の開発に係る調査研究に関する事
- 2 新品種作出、育種技術に係る試験研究に関する事
- 3 魚類防疫対策に係る試験研究並びに指導に関する事
- 4 資源管理型魚類(定着性資源)に係る調査研究に関する事

資 源 開 発 管 理 研 究 課	4名
-------------------	----

主幹研究員兼課長	津本欣吾
主任研究員	久野正博
主任研究員	岡田 誠

- 1 漁況予報に係る調査研究に関する事
- 2 資源管理型漁業(TAC対象種)に係る試験研究に関する事
- 3 資源増大技術開発に係る試験研究に関する事
- 4 資源管理型漁業(TAE対象種)に係る試験研究に関する事
- 5 資源管理型漁業(国際魚類資源)に係る試験研究に関する事

水 圏 環 境 研 究 課	7名
---------------	----

総括研究員兼研究管理監兼課長	西村昭史
主幹研究員	山田浩且
主任研究員	清水康弘
主任研究員	館 洋
主任研究員	畑 直亜

- 1 環境・生態系の保全・修復に係る調査研究に関する事
- 2 内湾漁場環境の調査研究に関する事
- 3 有害赤潮(ヘテロカプサ等)の調査研究に関する事
- 4 有害プランクトン(貝毒)の調査研究に関する事
- 5 内湾性藻場造成技術開発研究に関する事
- 6 閉鎖性海域環境研究センターに関する事

鈴 鹿 水 産 研 究 室	7名
---------------	----

主幹研究員兼室長	藤原正嗣
主任研究員	水野知巳
主任研究員	坂口研一
主任研究員	中西尚文

- 1 貝類の増殖に係る調査研究に関する事
- 2 黒ノリ養殖に係る試験研究に関する事
- 3 魚類の持続的生産に係る調査研究に関する事
- 4 浅海域の生態系保全に係る調査研究に関する事
- 5 河川の生態系保全に係る調査研究に関する事

尾 鷲 水 産 研 究 室	6名
---------------	----

主幹研究員兼室長	土橋靖史
主任研究員	宮本敦史

- 1 かんすい養殖の実用化に係る試験研究に関する事
- 2 魚類の防疫対策に係る調査研究に関する事
- 3 マハタ、クエの種苗生産技術開発研究に関する事
- 4 魚類養殖場の環境保全に係る調査研究に関する事

# 予 算 総 括

平成21年度当初予算ベース

事 業 名 称	担 当	期 間	事 業 費
I 水産研究所予算			(千円)
<b>施策 227 農林水産業を支える技術開発の推進</b>			
<b>基本事業 22704 水産業を支える技術開発の推進</b>			計44,695
(1) 産地間競争力を高める技術開発			
① 希少な真珠の生産技術の開発に関する研究【重点事業】	水産資源育成研究課	H19～22	2,889
② ノリの品種改良及び育苗再生技術等の開発【舞台づくりP】	鈴鹿水産研究室	H19～22	2,864
③ マハタ・クエの種苗生産・養殖高度化技術開発事業【重点事業】	尾鷲水産研究室	H19～22	6,528
(2) 持続性, 安定性, 効率性を高めるための技術開発			
① イセエビ種苗の効率的安定生産に関する研究(重点研究課題)	水産資源育成研究課	H20～22	2,580
② 標識アワビ種苗を用いた放流効果評価手法開発事業(新規)	水産資源育成研究課	H21～23	1,295
③ 栽培漁業技術総合開発研究事業	資源開発管理研究課	H20～24	820
④ 資源評価調査事業	資源開発管理研究課	H12～	17,407
⑤ 資源管理に必要な情報提供事業	資源開発管理研究課	H15～	1,078
⑥ 日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業	資源開発管理研究課	H13～	1,495
⑦ 魚類養殖試験(新規)	尾鷲水産研究室	H21～23	1,993
⑧ アユの減少要因の解明に関する研究	鈴鹿水産研究室	H20～24	1,008
⑨ アサリ等二枚貝の資源増大対策【舞台づくりP】	鈴鹿水産研究室	H19～22	782
⑩ 環境対応負荷低減型真珠養殖管理技術の開発【舞台づくりP】	水産資源育成研究課	H19～22	678
(3) 環境保全に向けた技術開発			
① 英虞湾漁場環境調査	水圏環境研究課	H20～24	2,164
② 熊野灘沿岸における有害プランクトン優占化機構に関する研究	水圏環境研究課	H20～	1,114
<b>施策 413 水環境の保全</b>			
<b>基本事業 41304 水環境の保全のための調査研究・試験検査の推進</b>			計15,203
① 沿岸遊休地等の干潟・藻場再生・回復手法の開発【舞台づくりP】	水圏環境研究課	H19～22	3,618
② 英虞湾における既設干潟・藻場の長期変化の把握【舞台づくりP】	水圏環境研究課	H19～22	1,582
③ 陸域起源物質が海域の一次生産等に及ぼす影響の把握【舞台づくりP】	水圏環境研究課	H19～22	3,622
④ 底泥の堆積過程の解明と堆積抑制手法の開発【舞台づくりP】	水圏環境研究課	H19～22	2,684
⑤ 自然の自己修復機能を利用した赤潮防除研究【舞台づくりP】	水圏環境研究課	H19～22	3,697
<b>施策513 科学技術交流の推進</b>			
<b>基本事業 51301 研究交流の推進</b>			計84,620
① 室内培養実験による赤ぐされ病耐性評価手法の開発	鈴鹿水産研究室	H19～23	2,000
② 次世代真珠養殖技術とスーパーアコヤ貝の開発・実用化研究事業費	水産資源育成研究課	H19～21	66,120
③ 海苔の単細胞化方法及び養殖方法	鈴鹿水産研究室	H21	3,000
④ 環境技術実証事業	水圏環境研究課	H20～21	13,000
⑤ 魚類養殖漁場における漁場利用評価モデルの開発(新規)	尾鷲水産研究室	H21	500
<b>基本事業 51304 科学技術基盤の整備</b>			計91,065
① 熊野灘沖合地殻変動調査事業費	企画調整課	H18～21	8,285
② 水産業試験研究管理費	企画調整課		47,316
③ 水産業研究施設機器整備費	企画調整課		35,464

事業名称	担当	期間	事業費
<b>Ⅱ 農水商工部 水産資源室・水産基盤室予算</b>			
<b>施策226 安全で安心な水産物の安定的な提供</b>			
<b>基本事業 22601 水産資源の持続的利用と安全・安心の確保</b>			
(1) 外湾地区省燃油型漁業推進対策事業			
①魚類養殖対策事業	尾鷲水産研究室	H21	1,262
②貝類（アコヤガイ）・藻類（ヒジキ）養殖対策事業	水産資源育成研究課	H21	2,917
③定着性魚介類資源増大対策事業（アワビの資源増大）	水産資源育成研究課	H21	1,045
(2) 消費者に安心される養殖水産物の生産体制整備事業			
①養殖衛生管理体制整備事業	水産資源育成研究課 尾鷲水産研究室 鈴鹿水産研究室	H19～21	512
②貝毒成分モニタリング調査	水圏環境研究課	H7～	108
(3) 資源管理体制・機能強化総合対策事業			
①資源回復計画推進事業			
◇底曳網漁業資源回復計画普及推進事業 資源回復実践調査	資源開発管理研究課	H20～21	264
◇イカナゴ資源回復計画作成推進事業	鈴鹿水産研究室	H20～23	487
(4) 緊急雇用創出関係			
①伊勢湾海底の健康診断緊急雇用創出事業	鈴鹿水産研究室	H21	39,900
②カワウによる被害状況県勢調査緊急雇用創出事業	鈴鹿水産研究室	H21	10,000
③魚病診断カード等の電子カルテ作成緊急雇用創出事業	尾鷲水産研究室	H21	1,700
④マアナゴ生理生態解析緊急雇用創出事業	資源開発管理研究課	H21	13,000
⑤マハタ・クエ人工種苗形態異常解析緊急雇用創出事業	尾鷲水産研究室	H21	4,500
<b>基本事業 22603 水産生産基盤の整備</b>			
(1) 熊野灘海域浮魚礁設置事業費			
①熊野灘浮魚礁技術活用モデル事業	資源開発管理研究課	H20～21	7,500
<b>施策223 農水産業の持つ多面的機能の維持・向上</b>			
<b>基本事業 22302 水産業の多面的機能の発揮</b>			
(1) 伊勢湾漁場環境浄化型漁業推進事業費			
①アサリ資源管理型漁業推進事業【舞台づくりP】	鈴鹿水産研究室	H19～22	806
②伊勢湾環境保全型ノリ養殖推進事業【舞台づくりP】	鈴鹿水産研究室	H19～22	172

## 事業概要

事業名	予算額 (千円)	事業概要																														
<b>1. 水産業試験研究管理費</b> ① 熊野灘沖合地殻変動調査事業費 ② 水産業試験研究管理費	8,285  47,316	水産研究部の維持管理費，調査船の維持管理費等。（県単、一部諸収入） <b>【調査船】</b> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">項目 船名</th> <th style="width: 15%;">船質</th> <th style="width: 15%;">トン数</th> <th style="width: 15%;">馬力数</th> <th style="width: 15%;">進水年月</th> <th style="width: 20%;">用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あさま</td> <td>軽合金</td> <td>79.0</td> <td>D 400</td> <td>H14. 3</td> <td>調査研究</td> </tr> <tr> <td>小大勢</td> <td>F. R. P</td> <td>1.1</td> <td>D 42</td> <td>H 4. 8</td> <td>調査研究 養殖作業</td> </tr> <tr> <td>まつかぜ</td> <td>〃</td> <td>1.3</td> <td>外 30</td> <td>H11. 3</td> <td>養殖作業 湾内観測</td> </tr> <tr> <td>灘 風</td> <td>〃</td> <td>1.5</td> <td>D 35</td> <td>H14. 3</td> <td>湾内観測 養殖作業</td> </tr> </tbody> </table>	項目 船名	船質	トン数	馬力数	進水年月	用途	あさま	軽合金	79.0	D 400	H14. 3	調査研究	小大勢	F. R. P	1.1	D 42	H 4. 8	調査研究 養殖作業	まつかぜ	〃	1.3	外 30	H11. 3	養殖作業 湾内観測	灘 風	〃	1.5	D 35	H14. 3	湾内観測 養殖作業
項目 船名	船質	トン数	馬力数	進水年月	用途																											
あさま	軽合金	79.0	D 400	H14. 3	調査研究																											
小大勢	F. R. P	1.1	D 42	H 4. 8	調査研究 養殖作業																											
まつかぜ	〃	1.3	外 30	H11. 3	養殖作業 湾内観測																											
灘 風	〃	1.5	D 35	H14. 3	湾内観測 養殖作業																											
<b>2. 試験研究費</b> <b>22704 水産業を支える技術開発の推進</b> (1)産地間競争力を高める技術開発 ① 希少な真珠の生産技術の開発に関する研究【重点事業】 ② ノリの品種改良及び育苗再生技術等の開発【舞台づくりP】 ③ マハタ・クエの種苗生産・養殖高度化技術開発事業【重点事業】 (2)持続性、安定性、効率性を高めるための技術開発 ① イセエビ種苗の効率的安定生産に関する研究（重点研究課題） ② 標識アワビ種苗を用いた放流効果評価手法開発事業（新規） ③ 栽培漁業技術総合開発研究事業 ④ 資源評価調査事業費 ⑤ 資源管理に必要な情報の提供事業費 ⑥ 日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業費 ⑦ 魚類養殖試験（組替 <b>新規</b> ）	2,889  2,864  6,528  2,580  1,295  820  17,407  1,078  1,495  1,993	低減する真珠養殖産業の活性化のため、希少で高品質な真珠を生産するアコヤガイの作出技術および適切な養殖条件を明らかにするための技術開発を行う。【県単】  特許出願した手法等を用いて、黒のりの採苗技術の改良と細胞レベルの選抜により、高水温耐性に優れた品種の開発を行うと共に、各漁場の特性に応じた優良品種の開発を行う。さらに、育苗期間の芽落ち被害を軽減するため、新しい採苗技術を応用して芽落ちしたノリ網を再生する技術を開発する。【県単】  マハタ、クエを東紀州の特産品として位置づけ、地域ブランドとしての定着を促進するため、育種等により優良種苗を安定して生産する技術を確立するとともに、養殖魚の品質向上等を目的とした養殖技術のさらなる高度化を図る。【県単】  三重県で開発した新たな飼育システムの改良、餌料の質的向上、飼育環境の好適化や疾病防止技術の導入、薬剤を使用しない飼育技術の開発等を図り、幼生飼育の効率化と飼育個体数の増大を実現する。【県単】  放流直後のアワビ種苗の動態を明らかにするための新しい技術としてアバロン・タグの有効的な活用法を開発するとともに、その技術を用いて種苗の生残率を高めるための条件を解明し、アワビ種苗の放流効果の向上を目指す。【県単】  トラフグ、クルマエビ、ヨシエビを対象に生態的知見を収集するとともに、放流後の追跡調査や放流適地の探索を行い、栽培漁業技術の総合的な向上を図る。【県単】  漁獲統計資料の解析、生物測定調査や調査船調査の結果に基づき、イワシ類・アジ・サバ類・ブリ・マダイ・ヒラメ・スルメイカ・トラフグ・マアナゴ・シャコ等の資源量の評価を行い、漁獲可能量（漁獲割当量）を算出するための基礎資料を収集する。【水研センター委託】  本県沿岸の漁況及び海況を定期的に調査して、その情報を関係機関に迅速に広報し、資源管理の推進を図る。【交付金】  マグロ類やカツオなどの高度回遊性魚類について、国際的な資源管理体制の確立が必要となっている。そのため、国を中心とした全国組織のもとに、本県では県立水産高校と連携して、漁獲データや生物調査結果等の収集・解析を行う。【水研センター委託】  養殖マダイのエドワジエラ症感染リスクの低減を図るため、予防効果が期待される物質の有効性を検討し、有効性が確認された物質について用法用量を確立する。【県単】																														

## 事業概要

事業名	予算額	事業概要
⑧ アユの減少要因の解明に関する研究	1,008	放流後のアユの減耗状況を定量的に評価し、減少要因を究明するとともに、その軽減策を具体化する。【県単】
⑨ アサリ等二枚貝の資源増大対策【舞台づくりP】	782	伊勢湾有数の貝類漁場である木曾三川河口域を例に、貧酸素水塊の波及機構とそれに対応する二枚貝類の生理的変化、生残状況を調査し、被害軽減策を検討する。【県単】
⑩ 環境対応負荷低減型真珠養殖管理技術の開発【舞台づくりP】	678	真珠養殖漁業者が漁場において適正な養殖管理を行い、生産性の向上を図れるよう、環境と養殖管理技術の関係を体系化すると共に、それらを養殖管理マニュアルとしてとりまとめ提供する。【県単】
<b>(3)環境保全に向けた技術開発</b>		
① 英虞湾漁場環境調査費	2,164	英虞湾の水底質環境ならびに餌料プランクトンや赤潮プランクトンの消長等を調査し、英虞湾プランクトン速報として関係機関に情報提供するとともに、漁場環境の長期変動を捉える。また、動画を用いた新たな赤潮生物検索マニュアルを作成する。【県単】
② 熊野灘沿岸域における有害プランクトン優占化機構に関する研究費	1,114	熊野灘沿岸域における有害プランクトンの長期的な変遷と発生環境を把握すると共に、有害赤潮のシード供給メカニズムを解明し、有害赤潮による漁業被害の防止に資する。【水産庁委託】
<b>41304 水環境の保全のための調査研究・試験検査の推進</b>		
① 沿岸遊休地等の干潟・藻場再生・回復手法の開発【舞台づくりP】	3,618	沿岸遊休地（潮止め堤防内湿地）の海水交換による生態系の変化を詳細に把握し、得られた知見をもとに干潟・藻場の再生技術を開発する。また、細胞培養によるアマモ場造成用種苗の量産技術開発にも取り組む。【県単】
② 英虞湾における既設干潟・藻場の長期変化の把握【舞台づくりP】	1,582	地域結集型共同研究事業で英虞湾内に造成した人工干潟・藻場を長期的に追跡し、地形の変化や生態系の安定性を評価し、実効性のある造成手法を開発する。【県単】
③ 陸域起源物質が海域の一次生産等に及ぼす影響の把握【舞台づくりP】	3,622	地域結集型共同研究事業の成果を活用し、森林、農耕地等の陸域から流出する物質の動態把握、さらにはそれらが沿岸域の低次生産に及ぼす影響を評価し、閉鎖性海域の環境再生に向けた流域管理手法を提案する。【県単】
④ 底泥の堆積過程の解明と堆積抑制手法の開発【舞台づくりP】	2,684	流域の土地利用形態及びそれらの歴史的変遷と海底堆積物の特性との関係を解析することにより、底泥の堆積メカニズムを解明するとともに、堆積抑制手法を提案する。【県単】
⑤ 自然の自己修復機能を利用した赤潮防除研究【舞台づくりP】	3,697	アコヤガイなど二枚貝を特異的にへい死させるヘテロカプサ赤潮の防除対策として、最近発見されたヘテロカプサのみ殺菌し、他の生物には害のないウイルスによる赤潮発生防止技術を開発する。【県単】
<b>51301 研究交流の推進</b>		
① 室内培養実験による赤ぐされ病耐性評価手法の開発	2,000	黒のり養殖で問題となっている赤ぐされ病に対する耐病性に優れた品種を開発するため、品種間における耐病性の差異を検出、評価する手法を確立する。【水研センター委託】
② 次世代真珠養殖技術とスーパーアコヤ貝の開発・実用化研究事業費	66,120	三重県が中核機関となり、三重県内真珠漁協研究会と三重大、三重県水産振興事業団等6研究機関が連携し、耐病性に優れ、高真珠形成能力のあるスーパーアコヤ貝の作出と革新的養殖技術により、花珠（はなだま）等高品質真珠を高効率に生産する次世代真珠養殖システムを開発・実用化する。【科学技術振興機構（JST）委託】
③ 海苔の単細胞化方法及び養殖方法	3,000	開発したノリ葉体の単胞子誘導方法を発展させ、実用レベルにまで技術を向上させるために必要な知見の補完を進める。【科学技術振興機構（JST）委託】
④ 環境技術実証事業	13,000	海域から採取した少数のアマモ株の分枝を促進させるアマモ種苗の大量生産技術の実証、および生産したアマモ種苗の現場海域への定着・成長と生物生息環境の改善を実証する。【環境省委託】

事業概要		
事業名	予算額	事業概要
⑤ 魚類養殖漁場における漁場利用評	500	魚類養殖漁場の利用実態と漁場環境との関連を明らかにするための漁場利用評価モデルを開発し、漁場環境の改善への提言を行います。【岡三加藤文化振興財団助成】
<b>Ⅱ 農水商工部 水産資源室・水産基盤室予算</b>		
<b>22601 水産資源の持続的利用と安全・安心の確保</b>		
① 魚類養殖対策事業	1,262	外湾地区の漁業の振興を目的に、主要養殖魚種であるマダイの餌料コストを削減するため、適正な餌料組成や新しい代替タンパク源の検討を行うとともに、近年、県内で展開されつつあるマグロ養殖が、養殖漁場の環境に与える影響を把握する。
② 貝類（アコヤガイ）・藻類（ヒジキ）養殖対策事業	2,917	外湾地区の漁業の振興を目的に、真珠の優良品種である白色系アコヤガイ系統保存技術改良に関する調査、および新たな養殖対象藻類として期待されるヒジキ養殖技術開発に関する調査を行う。
③ 定着性魚介類資源増大対策事業（アワビの資源増大）	1,045	外湾地区の漁業の振興、省燃油型漁業の推進を目的に、幼生大量放流による親アワビ資源回復調査を実施する。
④ 養殖衛生管理体制整備事業	512	養殖技術講習会の開催、養殖現場の巡回指導、魚病診断等を行い、飼育管理技術の改善と水産用医薬品の適正使用について指導し、養殖衛生管理体制の整備を図る。
⑤ 貝毒成分モニタリング調査	108	二枚貝の毒化状況と貝毒プランクトンの出現量をモニタリングし、出荷自主規制等の措置を講ずることで貝毒被害を防止する。
⑥ 底曳網漁業資源回復計画普及推進事業 資源回復実践調査	264	伊勢湾の底曳網対象資源の小型個体の保護を図るため、カバーネットを用いて小型底曳網の目合いによる入網物組成の変化を確認し、実際の操業を踏まえた目合い拡大の可能性を漁業者とともに検討する。
⑦ イカナゴ資源回復計画作成推進事業費	487	伊勢湾のイカナゴ資源について、より高位で安定的な漁獲水準を維持できるよう、資源回復計画を推進するために必要な科学的情報を収集する。
⑧ 伊勢湾海底の健康診断緊急雇用創出事業	39,900	伊勢湾海底の底生生物と底質の現況を把握し、生物の多様性の保全や持続的な生物資源の利用のための基礎資料とする。
⑨ カワウによる被害状況県勢調査緊急雇用創出事業	10,000	県内全般にわたってカワウによるアユ等の放流種苗の食害状況等を整理・把握し、カワウの保護管理・食害防止のための調査の基礎資料を作成する。
⑩ 魚病診断カード等の電子カルテ作成緊急雇用創出事業	1,700	養殖魚の魚病診断の効率化を図るため、現在、紙ベースで保存している魚病診断カードや漁場環境データ等の情報を一元化した電子カルテを作成する。
⑪ マアナゴ生理生態解析緊急雇用創出事業	13,000	資源の有効利用法の開発に資するため、採集されたマアナゴ仔魚の発育段階及び漁獲物の年齢・雌雄比等、伊勢湾のマアナゴ資源構造に関する科学的情報を収集する。
⑫ マハタ・クエ人工種苗形態異常解析緊急雇用創出事業	4,500	マハタ・クエの種苗生産過程で発生する形態異常を把握し、種苗生産の高度化を図るため、マハタ・クエ仔稚魚の骨（軟骨・硬骨）染色の標本作成およびその分析を行う。
<b>22603 水産生産基盤の整備</b>		
① 熊野灘浮魚礁技術活用モデル事業	7,500	浮魚礁設置海域周辺の表～底層の流向流速、魚群の蝟集状況、魚礁の利用実態等を調査し、浮魚礁の効果的な設置・運用方法を検討するための基礎資料を得る。
<b>22302 水産業の多面的機能の発揮</b>		
① アサリ資源管理型漁業推進事業【舞台づくりP】	806	伊勢湾において、漁業者によるアサリの自主的な資源管理型漁業を導入するため、アサリの資源動態を把握すると共に、資源管理の実践に必要な知見の収集および管理手法の開発を行う。
② 伊勢湾環境保全型ノリ養殖推進事業【舞台づくりP】	172	ノリ養殖漁場において、定期的に栄養塩濃度やプランクトンの発生状況を調査し、それらの結果をリアルタイムで養殖業者に提供し、ノリ養殖生産の効率化、安定化に資する。